

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年11月30日(2017.11.30)

【公開番号】特開2016-184846(P2016-184846A)

【公開日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2016-060

【出願番号】特願2015-63855(P2015-63855)

【国際特許分類】

H 04 M 9/00 (2006.01)

G 06 Q 50/10 (2012.01)

H 04 M 11/00 (2006.01)

【F I】

H 04 M 9/00 H

G 06 Q 50/10

H 04 M 9/00 D

H 04 M 11/00 3 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月23日(2017.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像を撮影する撮影部、または訪問者の訪問者携帯端末と通信を行う通信部の少なくともいずれかと、

あらかじめ登録された登録携帯端末に、前記撮影部が撮影した画像に基くURL、または前記通信部が受信した受信データに基くURL、を含む情報を送信する送信部と、
を備えることを特徴とする住宅用インターホンシステム。

【請求項2】

居住人を呼び出す呼出部を備え、

前記送信部は、前記呼出部が呼び出しを実行した後、所定の時間内に前記居住人が応答しない場合に、前記撮影部が撮影した画像に基くURL、または前記通信部が受信した受信データに基くURL、を含む情報の送信を可能にする、

ことを特徴とする請求項1に記載の住宅用インターホンシステム。

【請求項3】

前記送信部は、前記URLに含まれるドメインと、あらかじめ登録されたドメインを比較し、ドメインが一致した場合に、前記登録携帯端末に前記URLを含む情報を送信する、

ことを特徴とする請求項1または2に記載の住宅用インターホンシステム。

【請求項4】

前記通信部は、前記送信部が前記登録携帯端末に前記URLを含む情報の送信が完了した後に、前記訪問者の訪問者携帯端末に前記送信の完了を示す情報を送信する、

ことを特徴とする請求項1～3のいずれか一つに記載の住宅用インターホンシステム。

【請求項5】

前記URLを含む情報を前記送信部により送信させるか否かを問うメッセージを訪問者に対し表示する表示部を備え、

前記送信部は、前記メッセージに対する前記訪問者の応答に基づいて、前記登録携帯端末に前記URLを含む情報を送信する、

ことを特徴とする請求項1～4のいずれか一つに記載の住宅用インターфонシステム。

【請求項6】

住宅用インターфонシステムが実施する住宅用インターфон方法において、

訪問者が有する画像の撮影、または、訪問者の訪問者携帯端末との通信でデータの受信を行う工程と、

あらかじめ登録された登録携帯端末に、前記画像に基くURL、または前記データに基くURL、を含む情報を送信する送信工程と、

を含むことを特徴とする住宅用インターфон方法。

【請求項7】

請求項6に記載の住宅用インターфон方法を住宅用インターфонシステムが備えるコンピュータに実行させることを特徴とする住宅用インターфонプログラム。

【請求項8】

請求項7に記載の住宅用インターфонプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上述した課題を解決し、目的を達成するため、請求項1の発明にかかる住宅用インターфонシステムは、画像を撮影する撮影部、または訪問者の訪問者携帯端末と通信を行う通信部の少なくともいずれかと、あらかじめ登録された登録携帯端末に、前記撮影部が撮影した画像に基くURL、または前記通信部が受信した受信データに基くURL、を含む情報を送信する送信部と、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、請求項6の発明にかかる住宅用インターфон方法は、住宅用インナーфонシステムが実施する住宅用インナーфон方法において、訪問者が有する画像の撮影、または、訪問者の訪問者携帯端末との通信でデータの受信を行う工程と、あらかじめ登録された登録携帯端末に、前記画像に基くURL、または前記データに基くURL、を含む情報を送信する送信工程と、を含むことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、請求項7の発明にかかる住宅用インナーфонプログラムは、請求項6に記載の住宅用インナーфон方法を住宅用インナーфонシステムが備えるコンピュータに実行させることを特徴とする。